

令和7年2月13日

事業主 殿

長崎労働基準監督署

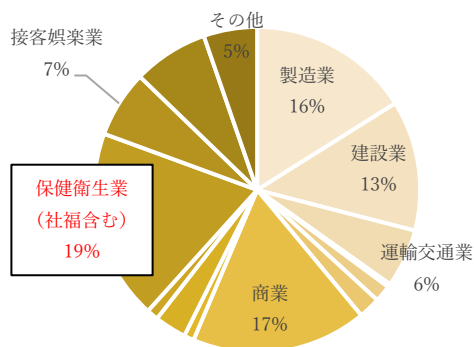
社会福祉施設における労働災害防止対策について

平素は労働災害の防止にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

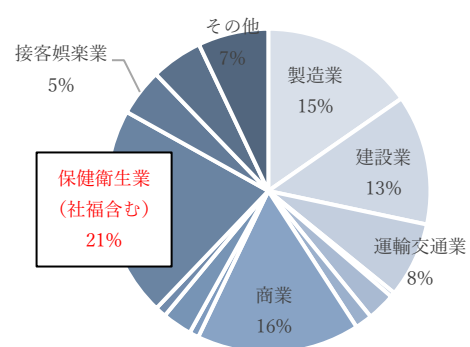
さて、令和6年12月末時点の長崎労働基準監督署管内の保健衛生業（社会福祉施設を含む。）における労働災害発生件数（新型コロナウイルスを除く。）は、前年よりも5.8%減少し114件となりました。近年、当署管内の保健衛生業における労働災害は減少傾向にあり、これはひとえに皆様のご理解・ご協力のおかげと深く感謝申し上げます。しかし、一方で依然として発生件数は高止まりしており、直近数年間の全産業における労働災害発生件数に対する保健衛生業での労働災害発生割合は約20%を占めており、全産業のうち最も高い割合となっています。

つきましては、社会福祉施設における労働災害の発生に歯止めをかけるため、別添の「安全な職場づくりチェックシート」をご活用いただきまして、職場における安全衛生管理活動のより一層の促進に取り組んでいただきたくお願い申し上げます。

長崎労働基準監督署(R6年)



長崎労働基準監督署(R5年)



安全な職場づくりチェックシート

	点検内容	チェック	関連情報
1	経営トップによる安全衛生に関する方針の表明と内容の周知を行っていますか	☐	
	【ポイント】 労働災害防止対策の推進には、人的・経済的な経営資源の分配が必要不可欠であるため、まずは経営トップが労働災害防止に対する強い意識を持つことが大切です。		
2	施設ごとに安全衛生担当者（衛生管理者、安全衛生推進者等）を選任していますか	☐	
	【ポイント】 常時50人以上の労働者が従事している場合は「衛生管理者」の選任が必要です。職場における労働者の安全管理を担当する「安全推進者」を選任し、働きやすい職場づくりに取り組みましょう。		
3	定期的に職場の巡視を行っていますか	☐	
	【ポイント】 労働災害防止には、危険を未然に防ぐことが非常に重要であり、安全衛生担当者による定期的な職場巡視で、危険の芽の早期発見に取り組みましょう。		
4	職場の4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）に取り組んでいますか	☐	
	【ポイント】 労働災害防止対策の基本である4S活動に取り組み、働きやすい職場をめざしましょう。		
5	衛生委員会又は安全衛生会議において、労働災害防止対策について検討していますか	☐	
	【ポイント】 衛生委員会等において、事業場内で発生した労働災害に対する再発防止対策の検討や災害防止に関する問題点（床の窪みや段差等）について話し合いましょう		
6	労働者に対して安全衛生教育を行っていますか	☐	
	【ポイント】 新規雇入れ時や配置転換時に、安全な作業手順や作業方法、その他の労働災害防止対策に関する安全衛生教育を行いましょう		
7	職場でのヒヤリ・ハットの収集を行っていますか	☐	
	【ポイント】 施設内で勤務する労働者に関するヒヤリ・ハット事案を収集し、労働災害の未然防止に活用しましょう		

8	転倒災害防止対策に取り組んでいますか	☐	
	【ポイント】 設備的な対策(手すりの設置、滑りにくい床材の導入、防滑機能付きの靴の使用、段差の解消等)や身体的要因を考慮した対策(体力チェックの実施等)に取り組みましょう		
9	危険箇所の「見える化」を実施していますか	☐	
	【ポイント】 ①転倒の危険がある箇所や段差部にステッカー等を掲示しましょう ②危険マップを作成し、見やすい箇所に掲示しましょう		
10	腰痛予防対策に取り組んでいますか	☐	
	【ポイント】 スライディングシート等の介護用具・機械の導入などのノーリフトケアの推進や安全な作業方法・作業姿勢等を定めた作業標準の作成などに取り組みましょう		
11	腰痛健康診断を実施していますか	☐	
	【ポイント】 「職場における腰痛予防対策指針」に基づき、腰痛健康診断を実施しましょう		
12	転倒・腰痛予防体操を行っていますか	☐	
	【ポイント】 加齢とともに進行する筋力や身体能力の低下を防止することで、転倒災害や腰痛を予防しましょう		
13	高齢労働者の労働災害防止対策を実施していますか	☐	
	【ポイント】 「エイジフレンドリーガイドライン」に基づき、職場環境の改善や労働者の健康・体力の状況に応じた労働時間の短縮、作業転換などの措置を行うようにしましょう		

参考資料のご案内

厚生労働省HPにおいて、社会福祉施設における労働災害防止対策に関する好事例集を公開していますのでご参照ください。

社会福祉施設 労働災害防止対策

検索

